

名前/所属：市村 日喜/生物資源工学科5年(当時)

派遣テーマ：ウェルネス経営の新たな選択肢

～沖縄食材を活用した薬膳メニューによる健康支援の可能性～

派遣プログラム：2024年度 沖縄からアジアへトビタテ！海外研修事業

派遣国/期間：大韓民国/1ヶ月(2025年2月16日～2025年3月16日)

志望動機

沖縄の地域資源を活かした新たな健康支援の可能性を模索したいと考え参加しました。特に韓国は、伝統的な韓方医学や薬膳文化が生活の中に根付いているため、日本とは異なる食養生を学ぶことができると考えました。また、沖縄の食材は健康長寿との関係で注目されており、それを韓国の薬膳思想と融合させることで、沖縄の健康に貢献できるのではないかと考えました。

派遣前の活動

派遣前には、オリオンビール株式会社様にてインターンシップを行い、地域資源を活用した商品開発やマーケティング手法について学びました。この経験を通じて、地元食材を使ったブランディングの視点を得ることができました。



↑東江工場にて見学させていただいた施設

学び

今回の留学を通じて、「食を通じた健康支援」は単なる栄養提供にとどまらず、文化・地域性など様々な背景を含めた包括的な取り組みであることを実感しました。また、語学研修先や宿泊先、現地での研修計画まで自ら立案した経験は、実践力や企画力を養う貴重な機会となりました。現地の調査活動や人との出会いが、自分の計画と行動によって築かれたものだという実感は、自信と成長につながったと思います。

派遣中の活動

語学研修：韓国語の研修を受け、現地での調査活動に必要なコミュニケーション力を高めました。

テーマ課題調査：薬膳文化と健康支援の関係を深く理解するために、韓国の薬膳・韓方文化の中心地である京東薬令市場や韓方振興センターを訪問し、現地の流通実態や伝統医学の位置づけを調査しました。



↑韓方振興センター内の伝統韓医院ブース



↑京東薬令市場の店に並ぶ韓方素材の数々

ネットワーク形成：訪問先の方々と交流を深め、現地の文化や価値観を多角的に理解することができました。



↑ロッテアサヒ酒類株式会社・沖縄県産業公社ソウル事務所の方々と一緒に